

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	被殻出血に対する内視鏡下血腫除去術積極導入前後での治療成績の比較及び課題
当院の研究責任者	脳神経外科 岡野 淳
本研究の目的	脳出血に対する内視鏡下血腫除去術は 2014 年に保険適応となり、スタンダードな手技となってきた。当院においては 2024 年以降、被殻出血に対して積極的に内視鏡下血腫除去術を導入した。本研究では被殻出血に対する手術加療の治療成績を解析し、内視鏡下血腫除去術の特徴を考察し、今後の課題を検討するのが目的である。
調査データ 該当期間	西暦 2019 年 4 月から 2025 年 5 月までの情報を調査対象とする
利用又は提供を開始する 予定日	西暦 2025 年 5 月から
研究の方法 (使用する情報)	●対象となる患者さま 2019 年 4 月から 2025 年 5 月の間に手術加療となった被殻出血の患者 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用し以下の項目を調査する。 性別、年齢、左右、術前血腫量、術前意識状態、手術時間、合併症の有無、退院時の mRS。
試料/情報の 他の研究機関への提供 及び提供方法	■他の機関への試料・情報の提供はない ☐
研究代表機関	東京警察病院 脳神経外科
個人情報の取り扱い	本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように加工した上で、細心の注意を払い安全に管理します。 なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。他機関の研究者に既存試料・情報を提供する場合は、対応表は提供せず、個人の識別が出来ないよう措置を行います。
問い合わせ・連絡先	東京警察病院 脳神経外科 医長 岡野 淳